

大垣

市制100周年記録集

未来に羽ばたく大垣市

〜まちの魅力を次代へつなぐ〜



大垣市制100周年記録集

- 発行日 平成31年3月
- 発行 大垣市役所
〒503-8601 岐阜県大垣市丸の内2丁目29番地
☎ (0584) 81-4111 FAX (0584) 47-8622
ホームページ <http://www.city.ogaki.lg.jp>
- 企画・編集 大垣市企画部秘書広報課



大垣市制100周年記念式典

CONTENTS

目次

市長・議長メッセージ	P 1
市制100周年記念式典	P 3
100周年を盛大に祝う	P 5
市民が創った100周年	P 7
市民とともに作りあげたおおがきの歌	・ P11
市民の笑顔が集う	P13
未来の技術を体験	P15
これまでからこれからへ	P17
時代を彩ったまちの軌跡	P19
発展するまちの姿	P23
市制100周年に実施した事業	P27
市制100周年PR・広報	P35
WE LOVE OGAKI ♥	P37



大垣市長
小川 敏

平成30年4月1日に市制100周年を迎えた大垣市は、この記念すべき節目を、「これまで」の歩みと「これから」をむすぶ年と位置付け、大垣の特色を生かした100の記念事業を展開してまいりました。

こうして1年間にわたり、皆様とともに盛大にお祝いすることができましたことに喜びを感じるとともに、ご支援いただきました皆様に心から感謝申し上げます。

これからのまちづくりには、「人」の果たす役割がますます大きくなります。ふるさとに誇りをもつ子どもたちが元気に育ち、時代の変化に対応して誰もが活躍するまちを目指すとともに、安全・安心で元気なまちづくりに取り組んでまいりますので、今後ともご理解ご協力をお願い申し上げます。



大垣市議会議員
石川 まさと

大垣市は、大正7年4月に市制を施行し、交通の要衝という優れた立地と豊富な地下水などの恵みを生活や産業に生かした「水都大垣」として発展し、平成30年4月には市制100周年を迎えました。

100周年を祝う多彩な記念事業には、多くの市民の皆様にご参加いただき、盛大にお祝いすることができましたこと、心からお礼申し上げます。

市議会といたしましても、先人が築き上げてこられた地域の力を受け継ぎ、次の100年へと発展させていくため、活力に満ち、そして人にやさしい、安全・安心のまちづくりに全力を尽くしてまいりますので、皆様の変わらぬご支援、ご協力をお願い申し上げます。



市制100周年記念式典

市は10月6日、市制100周年記念式典をスイトピアセンター文化ホールで開催し、未来へのさらなる飛躍と発展の決意を新たにしました。

式典は、市制100周年記念映像で開幕。小川市長の式辞や石川市議会議長のあいさつの後、2020年に完成する市役所新庁舎に設置するシンボルモニュメント最終候補の3作品や、市の昆虫・花木、子どもの誓い、大垣市の近未来アニメを発表。最後は会場全員で、おおがきの歌を大合唱しました。

▶市のシンボル(昆虫・花木)を発表

市民公募した環境保全と緑化のシンボルとして、市の昆虫・ホタルと、市の花木・ハナミズキが発表されました。これにより、市のシンボルは5つになりました。

初夏の夜を幻想的に彩るホタルは、市内各地域で保護活動が行われるなど親しまれ、ハナミズキは「ハナミズキ通り」という愛称の道路があるなど、街路樹や公園の樹木として数多く植えられています。



従来からある3つのシンボルデザイン



▶「大垣市制100周年記念映像」でスタート

式典のオープニングを飾った記念映像「あすへとつなぐ水都の宝」。これまでの歴史をはじめ、伝統行事や四季折々の風景など、空撮による映像を織り交ぜながら紹介しています。



大垣の魅力を紹介した映像



◀近未来アニメ

「いつか会えるキミに」を上映

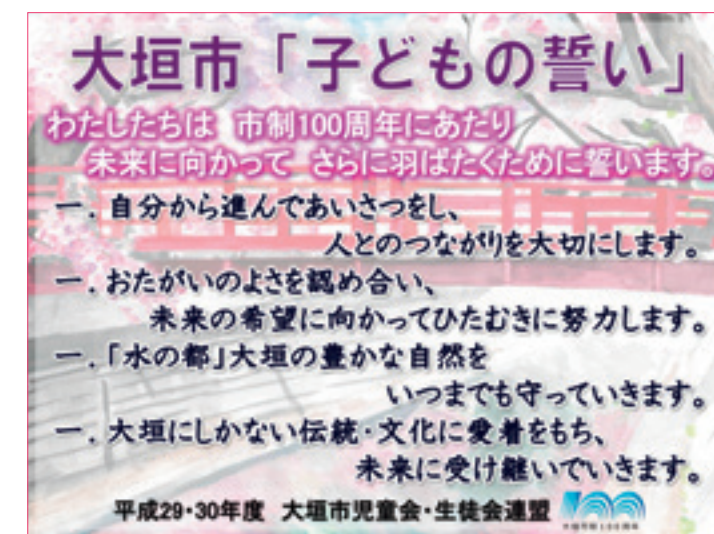
50年後の大垣をアニメで表現しています。上映後、原作を書かれた大垣市出身で小説家の中村航さんに登壇していただきました。



原作者の中村航さん

▶「子どもの誓い」発表

大垣市児童会・生徒会連盟の代表が誓いを発表。「誓い」は、各学級で意見を交換し、市内の子どもたちみんなで考えたものです。



▶「おおがきの歌」を大合唱

日本を代表する詩人で作詞家の谷川俊太郎さんと、作曲家の賢作さん親子が、子どもたちとのワークショップを重ね制作した新たなシンボルソング「これまでからこれからへ」。会場全員がひとつになり、大合唱しました。



100周年を盛大に祝う



記念式典の翌日、10月7日に開催されたおおがき大パレードと十万石まつりでは、市内外から合わせて約30万人が大垣駅通りなど中心市街地に詰めかけ、記念すべき年を盛大に祝いました。

また、その翌週の10月14日には、大垣まつりの軸13両が集結し、踊りやからくり芸で観客を魅了しました。

おおがき大パレード

大垣駅通り一帯で10月7日、十万石まつりと同時に開催。メインパレードでは、ハーレーを先頭に、岐阜県警、全国の大垣さん、自治会、女性連合会、南中学校、かがやきクラブと続いた後、東京ディズニーリゾート35周年スペシャルパレードがフィナーレを飾りました。



ハーレーがパレードを先導

▶約5,000人の市民が練り歩き

岐阜県警や市民団体など約5,000人が練り歩き、沿道にはたくさんのお客さんが詰めかけました。

オープンカーから手を振る
石川議長(左)と小川市長(右)



◀全国の大垣さん

全国から、名字が「大垣」の皆さん100人が参加し、祝祭ムードを盛り上げました。

大垣さんが手を振ると、沿道から大きな声援が送られました。

▶朝鮮通信使行列

平成29年10月にユネスコ「世界の記憶」に登録された「朝鮮通信使に関する記録」。江戸時代、通信使は大垣にも宿泊しました。

今回、通信使の正使は、市フレンドリーシティである韓国昌原市の李鉉揆第二副市長が務めました。



◀市内のキッズダンサーがディズニーと共演

市制100周年を祝うため、東京ディズニーリゾート®35周年スペシャルパレードが登場すると、沿道からは大歓声が上がりました。

市内で活動する小中学生からなるダンスチーム約60人も、音楽に合わせて軽快なダンスを披露してくれました。



十万石まつり

十万石まつりでは、常葉会をはじめ、市内の学校や企業の皆さんがみこしを担ぎ、市制100周年を盛り上げました。



祭軸特別曳揃え

10月14日に大垣駅通り一帯で開催しました。例年は、5月しか見ることができない大垣まつりの軸13両がずらりと並び、それぞれの掛芸を披露。子ども舞踊やからくり人形が、見物客を楽しませてくれました。

市民が創った100周年

市民の皆さんが、伝統や文化、歴史、自然、スポーツなどをテーマに企画立案した22の市民提案事業を開催しました。

市民提案事業

市制100周年記念事業は、市民の皆さんの提案による、創意工夫にあふれた事業で大いに盛り上げていただきました。

竹の子サイエンスワールド

- と き：平成30年4月8日(日)
- と ころ：大垣城ホール
- 企画運営：大垣竹の子会

子どもたちに科学を身近に感じてもらうため、コマ博士による実験教室や「米村でんじろうプロダクション」のサイエンスショーを開催しました。



サツキマスのふるさと大垣

- と き：平成30年6月2日(土)、10月21日(日)、11月17日(土)
- と ころ：東町地内(揖斐川河川敷)ほか
- 企画運営：サツキマスレズレクション

河川環境を守る意識を高めるため、6月にサツキマスの水槽展示、10月に揖斐川河川清掃、11月に親子でサツキマスの稚魚放流を行いました。



ジョヴァンニ・アレヴィコンサート

- と き：平成30年6月24(日)・25日(月)
- と ころ：スイトピアセンター、東中学校
- 企画運営：岐阜県世界青年友の会

イタリアの国際的なアーティストであるジョヴァンニさんのピアノソロコンサートを開催。東中学校では、吹奏楽部と共演するなど交流しました。



100周年のときにはこんな街になったらいい絵画展

- と き：平成30年4月28日(土)～5月7日(月)
- と ころ：ヤナゲン大垣本店
- 企画運営：大垣駅前商店街振興組合女性部

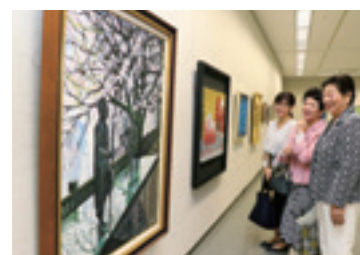
市制90周年市民提案事業として、当時の小学5年生から「商店街への将来の夢」をテーマに寄せられた588点の絵画の中から、入選作品を展示しました。



大垣美術家協会展

- と き：平成30年5月17日(木)～20日(日)
- と ころ：スイトピアセンター
- 企画運営：大垣美術家協会

市制100周年にちなみ、「大垣」「百」「水」をテーマにした日本画・洋画・書道・彫塑工芸・デザイン・写真の合計242点の作品を展示しました。



忍者電車でGO! 夏之陣

- と き：平成30年7月17日(火)～9月30日(日)
- と ころ：大垣市を中心とした西濃全域
- 企画運営：NPO法人岐阜県青年のつどい協議会

芭蕉が忍者であったという説を生かし、公共交通機関(養老鉄道・樽見鉄道・JR)を活用して財宝探しアドベンチャーを開催しました。



墨俣一夜城桜色ライトアップ

- と き：平成30年7月22日(日)～8月31日(金)
- と ころ：墨俣一夜城
- 企画運営：すのまたまづくり倶楽部

墨俣一夜城を桜色にライトアップ。夏の夜を墨俣の春の風物詩の桜色に染めました。点灯式当日には、宝探しイベントも実施しました。



市民俳句祭

- と き：平成30年5月18日(金)
- と ころ：奥の細道むすびの地記念館ほか
- 企画運営：奥の細道むすびの地俳句協会

参加者は市内中心部を巡って1人2句を投句。その後、グループに分かれて句会を行い、それぞれの句を披露し、優秀作品を互選しました。



100年ごはん上映会&ディスカッション

- と き：平成30年6月2日(土)
- と ころ：上石津中学校
- 企画運営：上石津まちづくり協議会

100年先の食について考えるきっかけとして、映画「100年ごはん」の上映会と、大林千景監督とのパネルディスカッションで意見交換を行いました。



キッズワークエキスポinおおがき

- と き：平成30年9月1日(土)・2日(日)
- と ころ：大垣城ホール
- 企画運営：キッズワークエキスポ実行委員会

働くことの楽しさや社会の仕組みを学ぶため、自動車整備、畳作り、アナウンサーなど子ども向け職業体験型テーマパークを開催しました。



初めまして! おおがきの歌

- と き：平成30年9月12日(水)、11月13日(火)・27日(火)、12月19日(水)
- と ころ：スイトピアセンターほか
- 企画運営：かすみの会

「おおがきの歌」の普及を図るとともに、次代を担う子供たちの感性を培うため、歌って踊るワークショップやコンサートを開催しました。



親子ふれあいコンサート

- と き：平成30年9月29日(土)
- と ころ：スイトピアセンター
- 企画運営：大垣女子短期大学

親子でふれあい、子どもの夢や希望を育む機会とするため、吹奏楽演奏会を開催しました。子どもたちは、自分で作った楽器を使いコンサートに参加しました。



みんなで大垣市民体操

- と き：平成30年11月3日(土・祝)
- と ころ：奥の細道むすびの地記念館
- 企画運営：岐阜経済大学

おおがきの歌にあわせて、手を伸ばしたり、屈伸したり、気軽に体を動かすことができる大垣市民体操を披露。会場の皆さんにも体操を体験してもらいました。



高校生提案事業

高校生からの提案事業は初の試み！未来を担う頼もしい若者からのこれまでにない斬新な企画で盛り上げていただきました。

ゆらぎLED照明による大垣まつり盛り上げ隊

- と き：平成30年4月21日(土)、5月12日(土)
- と ころ：アル・プラザ鶴見店、大垣八幡神社周辺
- 企画運営：大垣工業高校電子機械部

大垣まつりの軸に、ロウソクのようなゆらぎを演出する「ゆらぎLED照明」。製作体験で作った照明は、浦嶋軸に取り付けられ、大垣まつりを盛り上げました。

大垣で集え！戦え！
小倉百人一首競技かるた交流大会

- と き：平成30年11月3日(土・祝)
- と ころ：武道館
- 企画運営：NPO法人大垣市レクリエーション協会

かるたを通じた日本の伝統文化を再認識するきっかけとし、かるた名人&かるたクイーンのトークショーや段位別の競技かるた交流大会などを開催しました。



もっともっと知ろう！養老鉄道検定

- と き：平成30年11月25日(日)
- と ころ：スイトピアセンター
- 企画運営：NPO法人まち創り

本市とともに歩んできた養老鉄道の魅力を知ってもらうため、養老鉄道検定を実施。当日は7歳から90歳までの養老鉄道をこよなく愛するファンが多数参加しました。



フローラル・セレブレーション

- と き：平成30年10月6日(土)
- と ころ：スイトピアセンター
- 企画運営：大垣養老高校環境園芸科

色鮮やかな花のまわりに、大垣をイメージした枡や「水」を表現して水色に塗った石を使い、記念式典にふさわしい作品を製作。華やかな作品が会場を彩りました。



高校生俳句交流大会

- と き：平成30年11月11日(日)
- と ころ：スイトピアセンター
- 企画運営：大垣商業高校

岐阜・愛知・三重県の高校生が集い、5人1組であらかじめ出された題に基づく句を披露。参加者は、俳句の創作力や鑑賞力を競い、ハイレベルな戦いを繰り広げました。

集まれ野球ファン！
ベースボールスクール

- と き：平成30年12月1日(土)
- と ころ：岐阜経済大学
- 企画運営：大垣市野球複合スポーツ少年団50周年記念事業実行委員会

本市出身の中日ドラゴンズ・大野奨太選手のトークショーと野球教室、地元西濃運輸や岐阜経済大学の野球部、大垣ミナモトボールクラブの選手と交流しました。



大垣市と養老鉄道の100年の歩み

- と き：平成30年12月2日(日)
- と ころ：大垣駅南街区広場、大垣駅通り
- 企画運営：大垣市板金組合

「養老線の新たな出発」をテーマに、本市と養老鉄道の100年の歩みを紹介する看板を大垣駅南街区広場に設置。子どもを対象に、記念キーホルダー製作体験も行いました。

時代衣装で振り返る
ファッションショー

- と き：平成30年11月17日(土)
- と ころ：大垣城ホール
- 企画運営：学校法人平野学園清凌高校

高校に保存されている飛鳥時代から江戸時代までの時代衣装に加え、生徒が製作した衣装を生徒がモデルになり披露。美しい衣装に多くの観客が魅了されました。



練習もプログラムに入った音楽会

- と き：平成30年12月22日(土)
- と ころ：スイトピアセンター
- 企画運営：練習もプログラムに入った音楽会実行委員会

高校生から中学生に向けた演奏披露や合唱指導のほか、高校生と中学生による合同合唱を実施。音楽を通して絆を深め、交流の輪が広がりました。

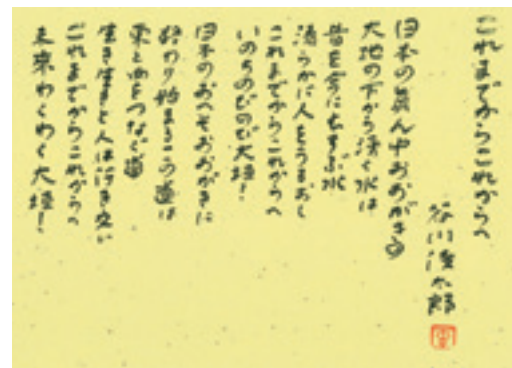


市民とともに作りあげた おおがきの歌



市制100周年に向け、市民協働で制作された「おおがきの歌」。市民が気軽に口ずさめる歌になるよう、広く市民から大垣への思いを募集しました。

また、本市の未来を担う小中学生と詩人の谷川俊太郎さん、作曲家の谷川賢作さんとともにワークショップを開催。子どもたちの自由な発想で、大垣のイメージや好きなところをことばにまとめ、子どもたちの思いが歌詞に込められました。



谷川俊太郎さんによる直筆歌詞



7月7日に総合福祉会館で行われた完成披露コンサートの様子

message メッセージ



作詞者
谷川 俊太郎 氏

子どもだった私にとって、旅と言えば東海道線に乗って行く京都でした。そこが母の郷里で、私はよく旅の終わりに近い大垣で、柿羊羹を母にねだって買ってもらったものでした。そんな縁があったおかげで、歌詞を考えるにも心のどこかに、暖かい懐かしさのようなものがありました。

昔と今、東と西、異なる時間と空間を、水の流れるように絶え間なく動き続けながら結ぶイメージが浮かんだとき、幼いころから知っていた大垣が、私の心に新しくよみがえりました。〈のびのび〉〈わくわく〉のような子どもの声にふさわしい言葉も、自然に私の心と身体の中に浮かんできたのです。



作曲者
谷川 賢作 氏

父との共作は多数ありますが、今回は大垣の子どもたちとのワークショップを経た後、この曲が出来上がったことがとても良かったと思います。

大垣の子どもたちって内気なんですよ、と聞かされていても、実際は決してそんなことはありません。とても活発な大垣をイメージする言葉のやりとり刺激を受けました。

父も言っていますが「のびのび」「わくわく」といった言葉たちを、子どもたちだけでなく、大人たちも自然におおらかに楽しく歌っていただけたらうれしいです。

大垣市制100周年記念おおがきの歌

これまでからこれからへ

作詞：谷川 俊太郎
作曲：谷川 賢作

に ほ ん の ー ま ん な か おお が き の

だ い ち の し た か ら わ く み ず は む か し を い ま に

む す ぶ み ー ず き よ ら か に ー ひ と を う る お し こ れ

ま で か ら こ れ か ら へ こ れ ま ー で か ら

こ れ か ら ー へ い の ち い の ち
み ら い み ら い

の び の ー び お お が き に ほ
わ く わ ー く お お が

ん の ー お へ そ おお が き に お わ り は じ ま る こ の み ち は

ひ が し と に し を つ な ぐ み ー ち い き い き と ー

ひ と は ゆ き か い こ れ

き こ れ ま で か ら こ れ か ら へ こ れ

ま ー で か ら こ れ か ら ー へ

い の ち い の ち の び の ー び お お が き

ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ

ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ

市民の笑顔が集う



市制100周年の記念すべき年を皆さんと一緒に盛り上げようと、大勢の市民が参加できるイベントが多数開催されました。中でも、ギネス世界記録に挑戦した催し=写真上=では、3,000人を超える市民が一丸となり、記録達成に挑みました。

ギネス世界記録に挑戦

6月3日に大垣公園で開催。今回挑んだ記録は「同時に食べさせ合いをした最多ペア数」で、大垣特産の木枡に入った水まんじゅうを15秒以内に食べさせ合いました。審査の結果、1,613ペアが成功し、見事新記録を達成。大きな歓声が沸き上がりました。



落ちないように慎重に

航空自衛隊と音楽交流

中部航空音楽隊による演奏会に先立ち、9月22日に、同隊員による音楽指導が東中学校で行われ、東中学校・大垣西高等学校・大垣女子短期大学の学生ら83人が、演奏技術や表現力を学びました。



おおがきっずスポーツフェスタ

7月30日に総合体育館で開催。元バスケットボール日本代表の中川聡乃さんをはじめ、球技のトップアスリートをコーチに迎え、子どもたちはスポーツを楽しみました。



大垣100年のあゆみ展

6月17日～10月31日にスイトピアセンター学習館1階ロビーで開催。写真約100点で大垣市100年の歴史を振り返りました。

また、デジタルサイネージ=写真下=では、写真や動画約1,000点を簡単なタッチパネル操作で閲覧することができました。



水の都大相撲大垣場所



7月29日に、市総合体育館で大相撲夏巡業として行われました。横綱の鶴竜関や白鵬関、稀勢の里関など人気の力士が勢ぞろいし、迫力のある取り組みが間近で繰り広げられました。

大垣第九演奏会

12月16日に市民会館で開催。大垣市室内管弦楽団が演奏し、公募で集まった市民合唱団「大垣第九を歌う会」の175人が歓喜の歌を響かせました。



NHKのど自慢

11月4日、ゲストに森昌子さんと水樹奈々さんを迎え市民会館で開催。当日は20組が出場し、カメラの前で自慢の歌声を披露しました。



出張！なんでも鑑定団in大垣

9月9日に市民会館で開催され、依頼人6人がお宝を持ち寄りしました。お宝が本物と鑑定されると、会場からは大きな歓声が上がりました。



これから 未来の技術を体験



近年、急速な発展を続けているロボットやAI（人工知能）、IoTなどの先端技術を、子どもたちに触れて学んでもらおうと体験イベントを開催。各イベントでは、ロボット製作教室やプログラミング教室も開かれ、子どもたちは未来の技術に目を輝かせていました。

ロボカップジャパンオープン2018おおがき

5月3～5日にソフトピアジャパニーで開催。これは、自律移動型ロボットによる県内初めての日本大会で、国内外から61チームが参加し技術を競い合いました。サッカー競技=写真上=では、複数のリーグに分かれて対戦。ロボットの動きに、観客からは大きな歓声が上がっていました。そのほか、ロボット製作教室や、ロボットの操縦体験なども行われ、来場者は最先端の技術に触れて楽しみました。



▲ロボット製作教室

ブロック型のロボットの組み立てとプログラミングを学ぶ体験教室を開催。親子で一緒にロボットを製作しました。

◀ロボットの搭乗体験

実際に人が搭乗して動かすことが可能な、動作拡大型外骨格ロボット・スケルトニクスを展示。子どもから大人まで搭乗体験を楽しみました。

おおがき未来フェスティバル

10月20・21日にソフトピアジャパニーで開催。リアルに動くロボットや日本初となる最先端技術を駆使したプロジェクションマッピング、ロボット操作体験・製作教室など、近未来を体験できる盛りだくさんの催しが行われました。



▲最先端の映像技術で制作された3D映像

投影物が飛び出して見える「3D×3Dプロジェクションマッピング」。来場者は、巨大壁面に映し出された大迫力の映像を楽しみました。

ロボカップジュニア

マイロボットで世界を目指す「ロボカップ」。その子ども向け大会「ロボカップジュニア」の地区予選大会として、大垣ノード大会が1月13日に、岐阜ブロック大会が2月10日にソフトピアジャパニーで開催されました。

▼2人1組で対戦するサッカー競技

自ら組み立て、プログラミングした自律移動型ロボットで行うサッカー競技。ロボットがボールを取り合い、白熱した試合が繰り広げられました。



▲本物のように動く恐竜たち

ロボットテクノロジーとリアルな造形や動きで再現された恐竜ロボット7体が、三城公園に現れました。

▶未来のおもちゃ

プロジェクションマッピングが生み出す未来の砂遊びを体験しました。



ロボットやAIの活用を考える

ロボットやAIなどを活用した先進的な取り組みを紹介する「スマートシティ大垣まちづくり講演会」が2月9日、ソフトピアジャパニーで開催されました。講演会の中で小川市長は、「先端技術で未来を創造するまち おおがきの創生」を基本理念とする「大垣市ロボット等活用まちづくり指針」の概要を説明。この指針は、次代を担う人材の育成をはじめ、幅広い分野でロボットなどの利活用の促進を図る「まちづくり方策」などを示したものです。

指針に掲げたまちづくり方策

- ① 未来を創造できる人材の育成
- ② 医療・健康・福祉分野における利活用の促進
- ③ 産業分野におけるロボット等先端技術の導入支援
- ④ 市民生活の安心と利便性の向上
- ⑤ ロボット等先端技術の理解促進



講演会で説明する小川市長



エンディングセレモニー

3月3日にスイトピアセンター文化ホールで開催。「これまで」の100周年記念事業を振り返るとともに、「これから」のスタートとなる市民参加型イベントとなりました。

セレモニーでは、地元ダンスチームが会場を盛り上げたあと、田中良幸実行委員長のあいさつで開幕。続いて、新市庁舎シンボルモニュメントが発表されました。記念事業の振り返りでは、関わってきた代表者が事業を総括し、これからの大垣市での活躍を宣言しました。

最後に、公募で集まった100人を超える市民合唱団をはじめ会場全員で、おおがきの歌を大合唱＝写真上＝し、記念すべき年のイベントを締めくくりました。

▶おおがきの歌 ダンスバージョン披露

オープニングを飾ったのは、地元ダンスチームの「D. A. Sカンパニー」と「S Gストリートダンススクール」の皆さん。



田中良幸実行委員長があいさつ

▶新市庁舎シンボルモニュメントの発表及び表彰

2020年1月に供用開始予定の市役所新庁舎に設置するシンボルモニュメントのデザインが、市民アンケートの結果や審査委員会での審議を経て、作品「翔」に決定しました。

空を飛ぶという意味を持つ「翔」。水資源の豊富な大垣から、未来へはばたく子どもたちをイメージしています。



※モニュメントは2021年春完成予定



作品「翔」の作者
高野真吾さん

おおがき未来宣言!!

皆さんの熱い想いを胸に、
来るべきロボットやAI社会の到来にふさわしい、
市民が主体となるまちづくりを
一緒に進めてまいりましょう！



大垣市長
小川敏

100周年記念事業に関わった団体の代表者に、未来に向けてどのような大垣を目指していきたいか宣言していただきました。

芸術が身近にあるまちを！



東中学校

- ジョヴァンニ・アレヴィとの交流会
- 中部航空音楽隊演奏指導

一流の音楽家と演奏できたことや、ちょっとした指導で音色が変わった体験に感動しました。
これからは感動を与えられる演奏をしていきたいです。

デザインで楽しめるまちを！



清凌高等学校

- 時代衣装で振り返るファッションショー

着付けや時代にあった歩き方などを学び、貴重な経験になりました。
これからは、衣装だけでなく、生活を豊かにするデザインを創りたいです。

音楽やスポーツがあふれるまちを！



星和中学校

- おおがきの歌合唱のつどい

詩人の谷川俊太郎さんが作られた詩には、ワークショップでの私たちの「ことば」も反映され、うれしかったです。
これからは大垣を代表する歌として、歌い続けていきたいです。

食べ物で健康になれるまちを！



大垣桜高等学校

- おおがき百彩弁当の製作

春夏秋冬、それぞれの季節を感じられるお弁当を作りました。
これからは地元食材を使い、見て楽しい、食べておいしい料理を開発していきたいです。

伝統文化を大切にするまちを！



大垣商業高等学校

- 高校生俳句交流大会

交流会の中で100周年の祝いの句を詠まさせていただきました。
「百歳(ももとせ)や蛭と生きる水の街」
これからは私たちのレベルを上げるだけでなく、「俳句のまち大垣」を発信していくため、俳句の輪を広げていきたいです。

地域に愛着が持てるまちを！



キッズワークエキスポ実行委員会

- キッズワークエキスポinおおがき

子どもたちが楽しく職業体験できるイベントを開催しました。
これからは、さらに協力の輪を広げ、子どもたちの夢や希望を育む事業を続けていきたいです。

先端技術で未来をつくるまちを！



大垣工業高等学校

- ゆらぎLEDによる大垣まつり盛り上げ隊

浦島轆に、灯りがゆらぐLEDを取り付けました。提灯の数が多く大変でしたが、達成感を感じました。
これからは、全部の轆にこのLEDを取り付け、まつりをさらに盛り上げたいです。

市民が主役となるまちを！



おむすび博プロジェクト

- クリエーターズパーク

様々なクリエイターを集めたテントマーケットを開催しました。
これからは事業を継続していき、ものづくりの聖地として、大垣の魅力をさらに発信していきたいです。